

湾岸道路本牧地区7・8号橋



発注者 国土交通省 関東地方整備局

形式 3径間連続鋼床版箱桁橋

橋長 286.0m（支間長：80.2m+110.0m+94.5m）

有効幅員 17.75m

鋼材重量 2750t

架設工法 一括吊上げ架設、多軸台車による一括架設、およびトラッククレーンベント工法の併用

完工 平成28年3月

特徴

・一括吊上げ架設（第一径間部）

首都高速 ON・OFF ランプ間の狭隘な架設環境を考慮し、一括吊上げ架設を採用した。センターホールジャッキと PC 鋼より線で構成されたジャッキ式吊下げ設備で架設を行った。

・多軸式特殊台車による架設（第二径間市道交差点部）

ヤード内にて多軸式特殊台車上で地組立てした桁を交差点部交通規制下にて架橋地点まで移動し、台車上に設置したユニットジャッキ設備により所定の位置まで持ち上げ微調整操作により橋桁の架設を行った。

・プレキャスト型枠(KK フォーム)を使用した壁高欄

残置式埋設型枠を使用し、コンクリート打設後の型枠撤去を省略し工期短縮を図った。